

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

阪神クリスマスフェスティバル 入場無料

12/12(金) 18:30開場 19:00開演

会場: あましんアルカイックホール・オクト

「回復の喜び」～Joyful Recovery～

メッセージゲスト: 吉田 隆 (日本キリスト改革派甲子園教会牧師)

ミュージックゲスト: Migiwa (ゴスペルシンガー)



宝塚栄光教会のクリスマス

毎年めぐってくるクリスマス。今年は教会で心あたたまる時をすごしませんか。

12/20(土) 入場無料

チェロコンサート

15:00～16:30

チェロの豊かな音色が心に響きます。深い感動に包まれるコンサートです。

12/21(日)

クリスマス礼拝

10:30～11:45

クリスマスの朝、静かに礼拝をささげます。希望のメッセージがあなたの心に届くでしょう。

キャンドルライトサービス

13:30～14:30

キャンドルの光の中でささげる礼拝です。闇の中に輝く光として、お生まれくださったキリストを喜ぶ礼拝です。

Question 14

教会によせられた質問にお答えします。

サンタクロースのモデルは、4世紀ごろの「ミラ(現在のトルコあたり)のニコラオス」ではないかと言われています。

ある時ニコラウスは、貧しさのあまり三人の娘を身売りしなければならなくなる家族の存在を知りました。ニコラウスは真夜中にその家を訪れ、窓から金貨を投げ入れました。このとき暖炉には靴下が下げられており、金貨はその靴下の中に入ったと言われます。この金貨のおかげで、家族は娘の身売りを避けられたとのこと。この逸話が由来となり、「夜中に家に入って、靴下の中にプレゼントを入れる」という、今日におけるサンタクロースの伝承が生まれています。

サンタクロースが煙突から入ることになったのは、

子どもたちにとっては、クリスマスと言えばサンタクロース。
でも、サンタクロースって誰なの？

1822年にアメリカの学者が、フィンランドの言い伝えを伝承した「聖ニコラウスの訪(おとな)い」という詩に、「キラ星のなか、屋根から降るのは／小さい蹄(ひづめ)の立てる爪音／引っこめ振り向いて見ると／聖なるニコラウス煙突からどずん」と書いたからと考えられています。

サンタクロースは聖書のどこにも出てきません。でも、子どもの夢として、伝えられ続けてもいいのでしょうか。

Gloryカレンダー発売

Gloryのエッセーと写真とともに、2026年を迎えませんか。神様に祝福された素敵な一年になりますようにとの願いを込めて。一部700円です。購入をご希望の方はご連絡ください。



宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

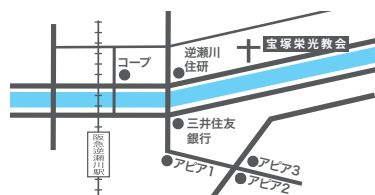
礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



教会HP

礼拝動画

希望のダイヤル



勇気を出して

私たちの周りには、様々な思いがけない出来事が起こってきます。地震や水害などで大変な被害にあうこともあります。自然は私たちに豊かな恵みをもたらしますが、また容赦なく破壊するものでもあります。自然災害ばかりではなく、社会的、経済的な面でも、私たちは、厳しい現実の前に、当惑し、失望し、悩んでしまうことが多いのではないのでしょうか。

聖書にこうあります。「世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました」(ヨハネの福音書16章33節)。これは、イエス・キリストの言われた言葉です。失敗してがっかりしているとき、困難にぶつかって戸惑っているとき、この言葉は、大きな力になります。

勇気というのは、出そうと思って出せるものではありません。いくら「がんばれ、勇敢であれ」とお尻をたたかれても、無理なときもあるのです。しかし、キリストは、「わたしはすでに世に勝ったから、あなたがたは勇気を出して進むことができるのだよ」と言われ

るのです。

キリストがまず勝利を取ってくださいました。十字架にかかって、私たちを縛っていた罪の力をうち破ってくださいました。また復活して、私たちを脅かしていた死の力を滅ぼしてくださいました。この勝利のキリストが、私たちの先頭に立って進んでくださいますから、私たちもその後に従って、勝つことができるのです。私たちがキリストを信じさえするなら、勇気はキリストが与えてくださいます。

キリストを信じると言っても、ただ漠然と信じるものではありません。罪を悔い改め、キリストの十字架が私のためでしたと信じて、罪の赦しをいただくのです。罪が赦され、滅びから免れさせていただいて、初めてキリストから勇気を与えられます。

あなたも、ぜひこのキリストを信じ、罪からの救いをいただいて、この悩みの多い現実の中を、勇敢に、勝利をもって進んでいってください。



「 カリン (花梨) 」 ― バラ科の落葉高木 ―

秋が深まり 空が高く 青く広がると
両手を広げて 背のびをして 息を吸う

カリンの木も まっすぐに伸びていく木で
この季節 黄色に色づいた実を 収穫する楽しみがある
収穫した実を 部屋に置いているだけで
部屋じゅうが カリンの芳醇な香りで いっぱいになる
そうして冬まで 香気を楽しむ人もいる
カリンは 中国西北部が原産である
中国では カリンを「香木瓜」と呼んでいるという
日本には かなり古い時代に伝わってきたようだ

カリンの実は 硬くて 渋みが強いので
昔から 漢方の生薬として使われてきた
咳止めや のどの痛みに効く果実として 知られている
また カリンに含まれる クエン酸やリンゴ酸は
疲労回復に効果があるという
現在 硬いカリンを 薄くスライスして
砂糖やはちみつと一緒に瓶に入れて 数ヶ月漬けてこんで
カリンシロップを作っている人は多い

主の慈しみに生きる人々よ

主に賛美の歌をうたい

聖なる御名を唱え 感謝をささげよ

詩編30編 (聖書)